

かうぶりせさせてん、十日の日と定めてする事ども例のごとし、

〔蜻蛉日記解環〕蓋此歲元天祿新帝融御代始ニ行ハル、大事ニツキテ、院ノ御給モ行ハル

ニツイテ、ヨキ折ト、公ノ思メシテ、元服サセテ、叙爵ヲカフムラセントノコトヲカクイヘルナ
ラシ、

〔公卿補任〕一條寛和三年丁亥元永

參議從三位藤原道綱中略天祿元年十二月廿

〔職原抄〕上式部省當唐吏部中略

卿一人中略

毎年於本省行諸國一分召也、一分召者任諸國史生之名也、史生謂之一分、内給、院宮、大臣已下參
議已上皆有年給、式部卿行之也、近代其禮久絶畢、

年官給法

〔蟬冕翼抄〕任符返上。

任符返上ト謂ハ、内給已下ノ年給ニ申任スル者ノ任符ヲ給テ後ニ、各有申テ返上スル也、

任タル國非本望トテ、件國ノ符返上シタルヲ、給主ノ請文ヲ書テ、其奥ニ任符ヲ卷籠メ上也、是

ヲ任符返上ノ國替ト謂、

又任符ヲ給テ不赴任國シテ、空四ケ年ヲ過テ、秩滿シタル第五年五ケ年ヲ爲一任猶本國ニ任

ゼント申ヲバ、是ヲ任符返上ノ更任ト謂、

又任タル國非本望トテ、件國ノ任符ヲ返上シタルヲ、給主ノ同國ニ他人ヲ任ゼムト申ヲバ、是

ヲ任符返上ノ名替ト謂、

凡任符返上ト謂ハ、總名也、此中ニ有國替更任、名替也、心ヲ留テ閑ニ見テ可任也、

諸未給。